

キャラデザイン プロに学ぶ

第一線で活躍するプロのアーティストから、キャラクターデザインを学ぶワークショップが19、20日、荒尾市の岱志高であった。地元の小中学生と同高美術工芸コースの生徒24人がキャラクター設定の方法や配色の基礎を学んだ。

ワークショップは、同高と荒尾市が毎年開催している。講師は熊本市のイメージキャラクター「ひびまる」などを手がけた、崇城大芸術学部の村井健太郎教授が務めた。

参加者は初日、食べ物などを擬人化する手法を学んだほか、特徴や性格、世界観といった設定を決めてオリジナルキャラクターをデザイン。最終日は村井教授から配色のコツについてアドバイスを受け、色を付けた。最後に村井教授が完成作品を講評した。

荒尾海陽中3年の藪内怜矢^{りょうや}さんは「複雑そうに思えた表現方法が意外と簡単で、とても勉強になった」と話した。

(米本充宏)